反対　スリム化は最小で最大で最良だ！？

松田 哲也　議員

維新の党の議員として反対する。

例えば区営住宅。建て替えに6億円もかけて今後維持すべきか。必要ない。民間に空き部屋は多くある。住宅施策は家賃助成に切り替えよ。また低所得者一辺倒の対策から、高所得者を助成で呼び込み、それを上回る税収で行政サービスを拡充する新好循環を作れ。

勤労者サービスセンターの映画チケットサービス等も民間で多く行われている。わずか2,800人のために25万区民一人200円、合計5,000万円もの税金を使って区が行う事業ではない。受益者負担で会費を上げるか、事業を廃止せよ。

「サービスカット」、それは区民にとって耳障りな話だろう。しかしそれは特定の団体から区民へ、最小経費で最大の効果をもたらす最良手段だ。